
世界でいちばん可愛い君に

喜季

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界でいちばん可愛い君に

【Nコード】

N5213B

【作者名】

喜季

【あらすじ】

私の世界でいちばん可愛い女『姫宮紗良』私の世界でいちばん格好いい男『田仲孝良』私の世界でいちばん捨ててしまいたい『切ない恋心』

プロローグ

髪を切った。肩甲骨の下までの髪が何となく邪魔になったな、と思いつの日のうちに切った。

10cmは切ったと思う。肩につくかつかないぐらいのマッシュボブは面白いぐらい軽いし、洗髪も楽だ。

「さゆ！こつち！」

日を浴びたことがないんじゃないか？って思うほど白くて細い手と腕が私をよんだ。

中講義室とは言っても割に大きい教室の中で、彼女の小鈴のような声は綺麗に響く。

「おはよう、紗良」

彼女、姫宮紗良の隣りの席に座ると微かに甘い香りがした。

医療系の単科大学の学生のほとんどは香水をつけない、というのは私の偏見だろうか。

この大学に入学してから1年以上経つが、香水を毎日つけているのは紗良ぐらいだ。

とはいえ、紗良もそう強くつけているわけではなく、時折、ふわりと匂う、苦にならない程度だ。

授業の準備をしていると、肩をつつかれた。隣から紗良の可愛い声が聞こえる。

「たつちゃん！おはよう」

「紗良ちゃん、さゆちゃん、おはよ」

少し黒めの肌の中で大きな少しつり目がほころんでいる。

たつちゃんこと、田仲孝良はRS（放射線技術学科）で1番かっこいいといわれる男の子だ。

身長は170と少しとそこまで高いというわけではないが、高校まで続けていた水泳によってできた逆三角の体に整った顔立ちに印象的な、目。

誰にでも気さくだけれどタラシではない彼は去年、この大学のミスターに輝いた。

「……おはよ」

私は昨日のテレビのことで盛り上がる、紗良とたっちゃんを見ながら小さく言った。

去年、ミスターのたっちゃんの横にたったミスは紗良だ。

紗良は可愛い。その上、美しい。

気持ち良いぐらいに真っ直ぐな髪は、人よりも少し明るくて体と同じように細い。

大きな口の唇は少し厚めだけれどグロスをぬらなくてもプルンとしている。

その上の鼻は小さくまとまっているが、でも鼻筋は通っている。目は大きくて少し垂れていておっとりした印象をあたえている。けれど、そのイメージをさらに強くしているのはまつげだ。

目の下に影ができる程に長さも量もある。

まあ、とにかく色々完璧なのである、見た目は。

中身、性格の方は小悪魔が入っている。

自分の見た目が分かっていて、見せ方も使い方も分かっているのだ。そこが嫌いだと思わないし、むしろそういうのが下手な私からしてみれば尊敬にもあたいる。

ただ、やはり同姓受けはしにくい。大学になってまで、みんなでシカトをするわけじゃなく、それなりに付き合いをするけど、それでもやはりそれなりなのだ。

彼女が親しい友人と断言し、酒とか遊びに誘うのは私ぐらいなのだし。

「さゆちゃん？どうかしたの？」

「……え？ああ、別に。どうもしてない」

たっちゃんが顔を覗きこむように話しかけてきた。

その奥で紗良が少し不機嫌そうな顔をしていた。私はとりあえず笑ってごまかした。

去年の夏から紗良はたちやんのことを狙っている。けれど、まだ落としてはいない。

珍しいと思うし、嬉しいとも、早くくっついてしまえば良いとも思う。

そうすれば、紗良からの憎悪を含む視線を浴びなくてもすむし、なによりも自分の気持ちにもピリオドを打てるから。

ミスター&ミスコンのとき、一方的に私は失恋しているのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5213b/>

世界でいちばん可愛い君に

2010年12月10日14時53分発行